



重大リスクとその対応

No.	大分類	中分類	リスク名	主な対策の内容
1	オペレーショナルリスク	重要品質事故	重要品質問題の発生	重要品質問題を防ぐために、各種品質試験・耐久試験の実施、各製造工程・設備の定期点検、従業員に対する品質教育の実施、法令監査の実施、社外調達先の品質監査の実施などを行っています。
2		情報漏えい	情報漏えい・サイバー攻撃	個人情報や機密情報の管理を徹底するため情報セキュリティ管理体制を継続的に強化しています。また、外部委託業者に対しては個人情報等を適切に管理しているかの調査を行い、不適切な取引先がないことを確認しています。また、情報システムへの外部からの攻撃にも備えるために、ファイアウォール、侵入検知装置などのセキュリティ機器を配備して不正アクセスに対する防御対策を実施しています。高度化するサイバー攻撃リスクに対する社員の教育・意識付けを狙いとした、「標的型攻撃メール」に対する模擬訓練を定期的に行っています。
3		人事・労務	労働基準法違反	時間外勤務をする際に申請・承認が必要となるシステムを導入しており、一人ひとりの労働時間を勤怠管理システムで可視化して適切に管理しています。
4			従業員の健康問題の発生	従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、健康管理スタッフによる面談およびフォローを実施するなど、生活習慣病や感染症の予防対策、禁煙の推進、またメンタルヘルス対策等に取り組んでいます。
5			人権問題の発生	職場におけるハラスメントの防止を図るための「ハラスメント防止規程」を定めています。毎年、研修を行うことによって、発生防止に努めています。また、ハラスメント行為の早期発見・発生防止のために、ヘルプライン・ハラスメント相談窓口を設けています。
6			感染症集団感染	感染拡大を防止するために、感染者や体調不良者の情報入手次第、速やかに接触対象者へヒアリングし感染の可能性が高い従業員に対しPCR検査・自宅待機を実施しています。
7	ハザードリスク	サプライチェーンのリスク	調達先について毎年調査と整備を行い、また事業継続の観点より、特定の調達先に依存することなく、かつ適正な価格による調達をする仕組みを整えています。	
8		事故・災害	災害や事故による業務停止	事業継続に大きな影響を及ぼすような地震、風水害や火災といった事象に備え、体制の整備、ルールの策定、安全教育、消防訓練、設備の定期点検などを実施しています。さらに、こうした事象が発生した場合に事業に及ぶ影響を最小限に抑えるために、代表取締役を本部長とした災害対策本部体制を構築し、事業継続計画(BCP)を策定しています。
9		重大労働災害発生	社員が安全で安心して働ける職場環境を構築するとともに、健康の保持と増進に努めています。安全は企業活動の基本条件であることを全員が認識し、労働災害の防止を目的に安全衛生活動・教育を積極的に推進しています。毎年、労働災害ゼロを目標に、全社安全衛生委員会、事業場ごとの安全衛生活動、協力会社様との災害防止協議会、社員教育・研修など多彩な活動を展開しています。	
10		情報システム故障・不具合	情報システムの計画外停止	情報システムがいつでも安定的に使えるようにするため、ハードウェア障害対策とソフトウェア起因の障害対策、および復旧時間短縮化の体制を構築しています。また、ネットワークの障害発生に備え、重要な通信回線や通信機器を冗長化しています。